

JEHCは、「ものづくり現場の脱炭素化を実現する『産業電化』のプラットフォーム」を目指します!

日本エレクトロヒートセンターとは

一般社団法人日本エレクトロヒートセンター(以下、JEHC)は、電気利用による加熱・冷却(エレクトロヒートシステム)の技術向上および普及促進を通じて、産業と民生の発展・成長に貢献するため、前身の「日本電熱協会(昭和58年発足)」を法人化して平成18年4月に「エレクトロヒートシステムのナショナルセンター」として発足しました。

JEHCは、優れた特長を有するエレクトロヒートシステム・電化技術の普及を通じて、国内の産業・民生(業務用厨房)部門の持続的な発展・成長、および脱炭素・カーボンニュートラル社会の実現に向けて貢献してまいります。

JEHCの技術領域とエレクトロヒートの特長

JEHCが担う技術領域は、現在、産業用ヒートポンプをはじめ、産業分野における各種電気加熱方式(7分野)及び業務用電化厨房です。

JEHCでは、エレクトロヒートが持つ多様な特長を活かして、「省エネ性・環境性、生産性・品質の向上、生産工程の革新」等のエレクトロヒートの効用の最大化を目指しています。

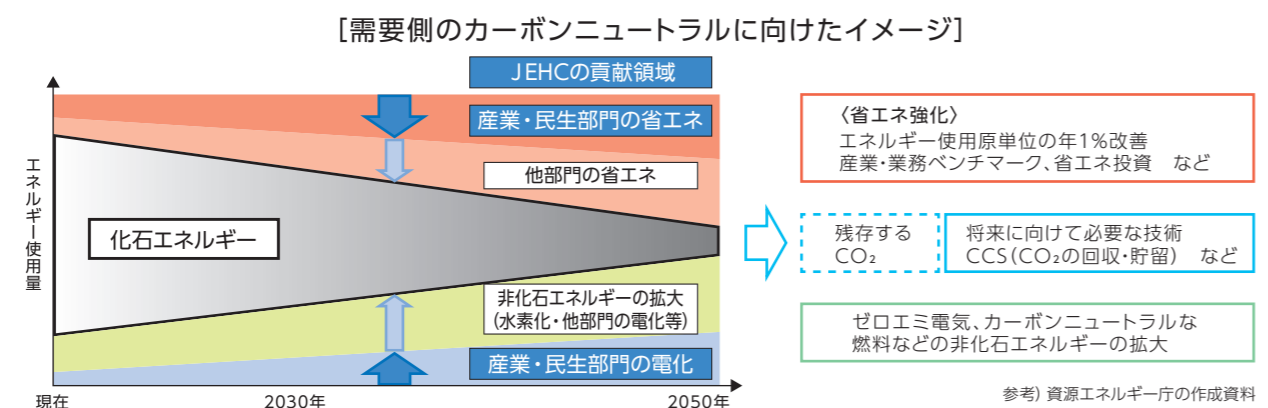


2050年 カーボンニュートラル社会実現への貢献

JEHCの貢献領域

- 2050年カーボンニュートラルに向けては、徹底した省エネに加え、再エネ電気や水素等の非化石エネルギーの導入を拡大していくことが必要となります。
- 需要側においては、引き続き、省エネを進めつつ、供給側の非化石化を踏まえた電化・水素化等のエネルギー転換を図っていくことが重要な課題となります。

⇒JEHCは、エレクトロヒート技術で産業・民生(業務用厨房)部門の「省エネ」と「電化」により、化石エネルギーの削減に貢献していきます。



JEHCの取組み

JEHCは、エレクトロヒート業界におけるナショナルセンターとしての地位を確立し、ネットワークと事業基盤の一層の強化を図りながら、その普及拡大と技術向上に向けた取組みの「先導者」となって邁進します。

今後は更に、エレクトロヒートシステムの「普及拡大」と「技術向上」を進化させてまいります。



普及拡大

① 情報発信・広報活動

- WEB活用を中心とした情報発信手段により、普及広報に向けた情報発信機能の多様化を図ります。
- エレクトロヒート技術と多岐にわたる導入事例の両面から継続して情報発信します。

② 政策反映

- エレクトロヒート業界の行政に対する窓口の役割を果たし、会員企業・関連団体と連携して、エレクトロヒートシステム導入の公的支援制度等の適用拡大に向けたアプローチを行います。
- 新技術・システムの動向等を把握するため、研究開発機関等との連携を強化します。

③ 導入支援活動

- ユーザー等による導入支援制度の活用を支援します。
- センター内外の企業等と協力して、普及拡大の基盤となる標準化とプラットフォーム構築を推進します。

技術向上

① 技術情報プラットフォームの提供

- 会員間で技術情報を共有する体制として、加熱方式別の技術部会を設置・運営し、会員企業にエレクトロヒート技術情報のプラットフォームを提供します。
- 各技術部会では、最新の技術シーズに加えて、産業界のニーズに適合したシステム化技術等を収集・蓄積・情報共有し、技術開発・動向調査等に活用します。

② 人材育成

- 工場現場で設備計画・管理を担当する技術者や将来のエレクトロヒートシステムの普及・技術革新を担う人材の育成に取り組みます。効率的かつ広範な育成方策として、WEBセミナー等を積極的に展開します。
- 全国の地区エネルギー使用合理化委員会セミナー・研修会等への講師派遣
- 会員企業等の若手・中堅技術者の育成のため、技術交流の場の提供や電熱講座の開催
- 産業分野の先端技術や産業用ヒートポンプによる廃熱活用に関するセミナーの開催



セミナーの風景

ネットワーク

① ネットワーク・事業基盤の強化

- エレクトロヒート業界のナショナルセンターとして、事業基盤を安定化し、事業活動を着実に推進していくために、ステークホルダーとの多角的なネットワークの強化と会勢の拡大を図ります。
- 業界団体、行政、研究・教育機関等へのアプローチ・連携強化
- 行政・サブユーザーの最新情報の提供等会員メリットを訴求した入会勧奨(会員数の拡大)
- 国際交流の推進